

入院中生徒の 意欲向上に向けて

～分教室間のつながりを通して～

京都市立桃陽総合支援学校
木邑佳織・矢野恭裕



5つの
分教室

- 京都大学医学部附属病院
- 京都府立医科大学附属病院
- 京都第二赤十字病院
- 国立病院機構京都医療センター
- 京都市立病院



本校

京都市
桃陽病院



訪問
教育

- 分教室のない市内
の病院
- 京都第一赤十字病院
 - 医仁会武田病院
 - 桂病院

など

【対象生徒】

- ・分教室 中学2年 男子



【病状について】

- ・昨年度11月下旬より入院。入院予定期間は約1年
- ・治療・体調により、病室から出られない日が多い

【入院前の学校生活の様子について】

- ・ほぼ休みなく学校へ登校
- ・クラスのムードメーカー
- ・サッカー部所属（GK）
- ・休日は1人もしくは友達とサイクリングに出かけることが好き（嵐山，鞍馬，琵琶湖，枚方など）

入院当初の対象生徒について

治療や投薬の副作用等の
のたるさがあり、
学習意欲を持ってない

生活が一変した
ことへの戸惑い

病気について
の不安

学習意欲がない

話すことが好きな
彼にとっての
しんどさ

治療の厳しさ
見通しの持てない不安

同世代とのつながりがない

どんな治療が
あるのだろうか

楽しみがな
くなった。



ICTをつかって支援できないだろうか

①原籍校への復学，退院後の生活を見据え，体調に合わせながら継続的な学習を行う。

②本校や分教室と合同学習を行い，同世代との関わりを増やし，学習や行事において役割を持ち，仲間との共感・共有を通して自己肯定感を高め，学習や治療への意欲を向上していく。

③原籍校と連携をとりながら，スムーズな学校生活への移行ができるようにする。

ねらい1

原籍校への復学，退院後の生活を見据え，
体調に合わせてながら継続的な学習を行う。

学習意欲の高くない本生徒

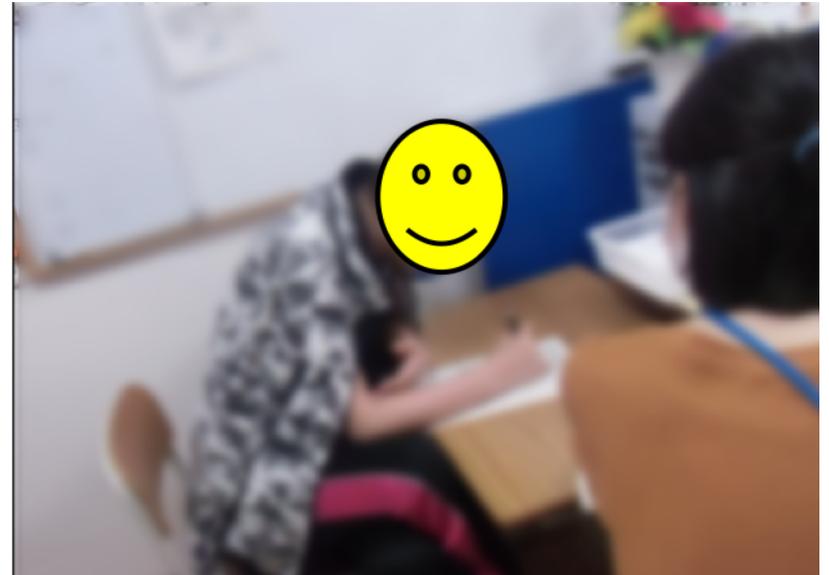
どのように支援し継続的な学習を行えばよいか…

学習意欲を上げていくため
にはどうすればよいか…

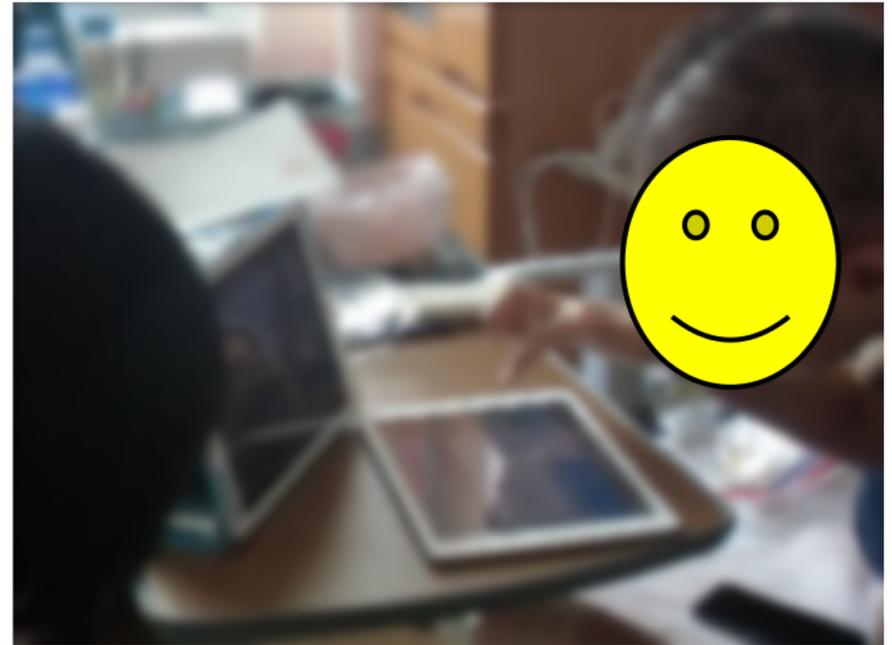
病気療養中でも、どこでも学べる
学習機会を作っていこう



分教室に登校できる時



病室から出られない時



授業者がベッドサイドに行き学習

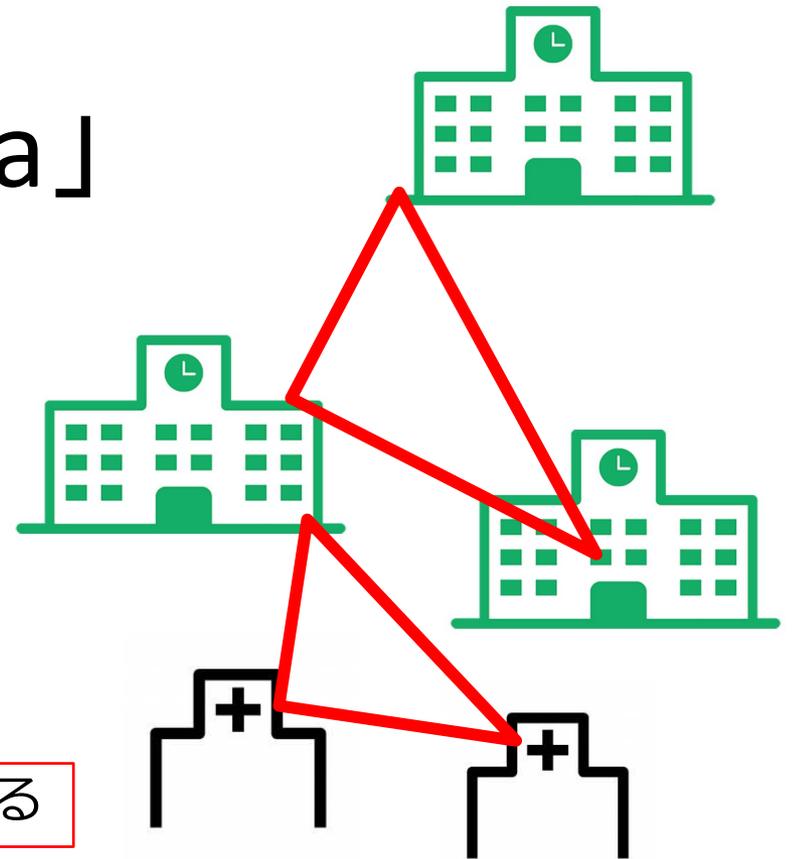
京都市のネットワークシステムを使って集団授業を行う



「meetingplaza」

全市の小中学校に配備されているweb会議サービス

当校の分教室と一部病室でも繋がっている



①体調に合わせた継続的な学習に向けた取組 I

学習集団・学習機会保障の図

B分教室



A分教室



分教室



C分教室



①体調に合わせた継続的な学習に向けた取組 I

分教室でのベッドサイド学習を進めるために

ベッドサイド貸し出しセット

ヘッドセット

つながかたマニュアル

- ①「スタディサプリ」を検索して、トップページを開く
★お気に入りにもはっています。
- ②右上のログインをクリックして、「学習者ログイン」を開く
ユーザー名(toyosaga7)
パスワード(toyo312)
- ③学習したいコンテンツを選んで学習する
- ④学習が終了したら、ログアウトする

PC

分教室10

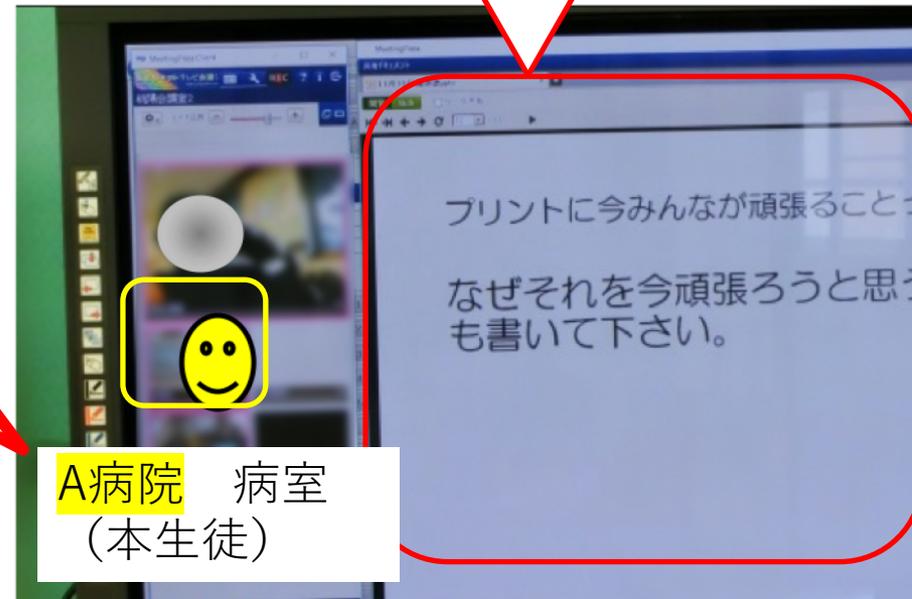
ベッドサイド貸出用

①体調に合わせた継続的な学習に向けた取組 I

分教室間をつないだ授業の様子



授業用パワーポイントの共有



①体調に合わせた継続的な学習に向けた取組 I

自宅（一時退院中）

分教室



教員

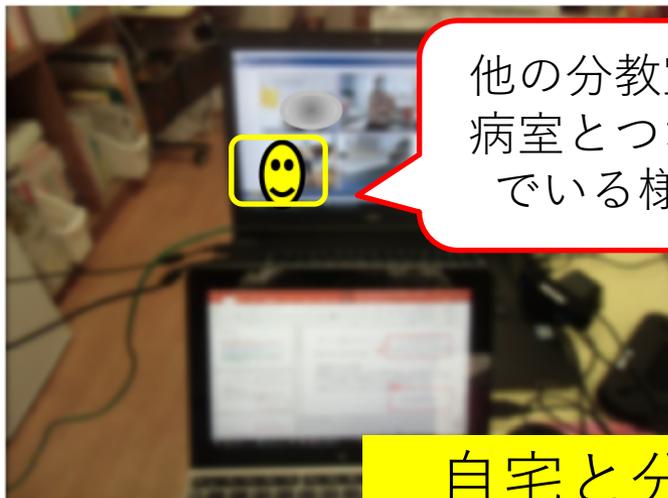
自宅（本生徒）

配信用iPad

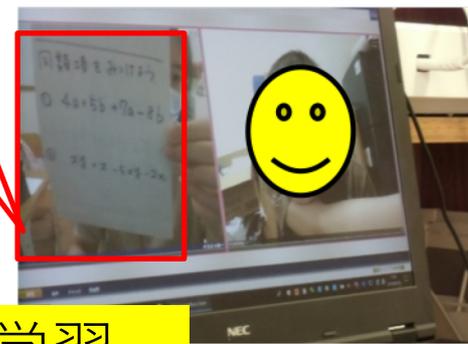


教材共有用
iPad

他の分教室や
病室とつない
でいる様子



メモを使っ
たやりとり



自宅と分教室をつないだ学習

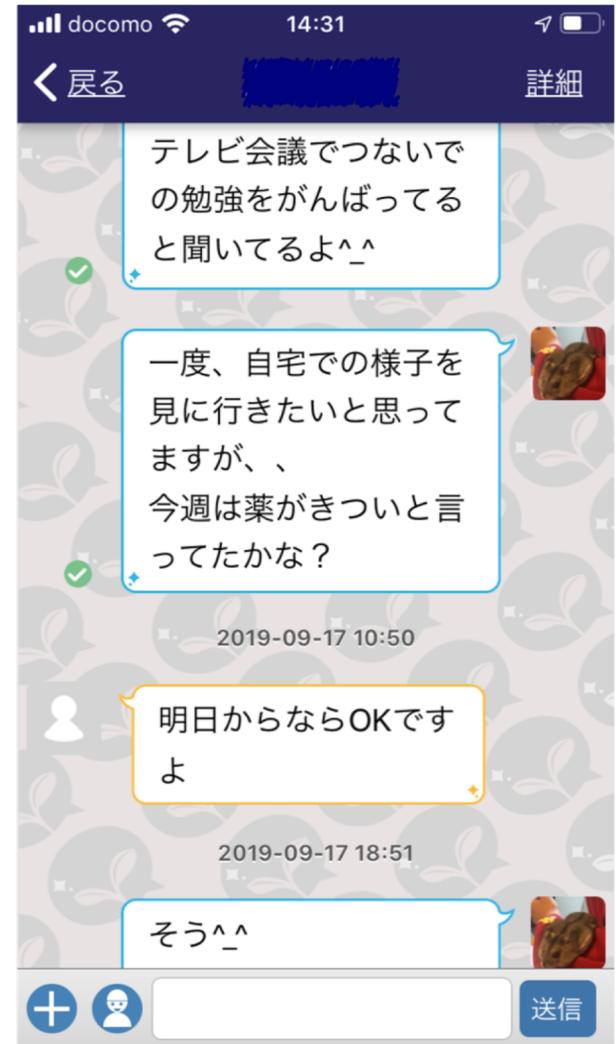
連絡手段として



アプリ 「By Talk for School」

主に授業の連絡，体調の様子，配信授業での困りはないかなど意思疎通を図った。

会話など気軽にしりとりするなど，場所は離れていても，いつでも繋がれるというツールとして便利であった。



夏休み中の学習として授業配信動画の活用



「palstep」は、株式会社エデュアスが提供している生徒一人一人の学習レベルに応じて学習を進めることができる小中学生向けのeラーニングシステム。

スタディ
サプリ

スタディサプリは、リクルートマーケティングパートナーズが運営している授業動画配信ソフト。

* 研究事業にて当校で試験的に使用している。



どちらもどのくらい学習したかを
指導者が確認できる

①体調に合わせた継続的な学習に向けた取組Ⅱ

夏休みに一緒に取り組んだが…



自主的な学習を促すことが
難しかった。



①体調に合わせた継続的な学習に向けた取組Ⅱ

ねらい2

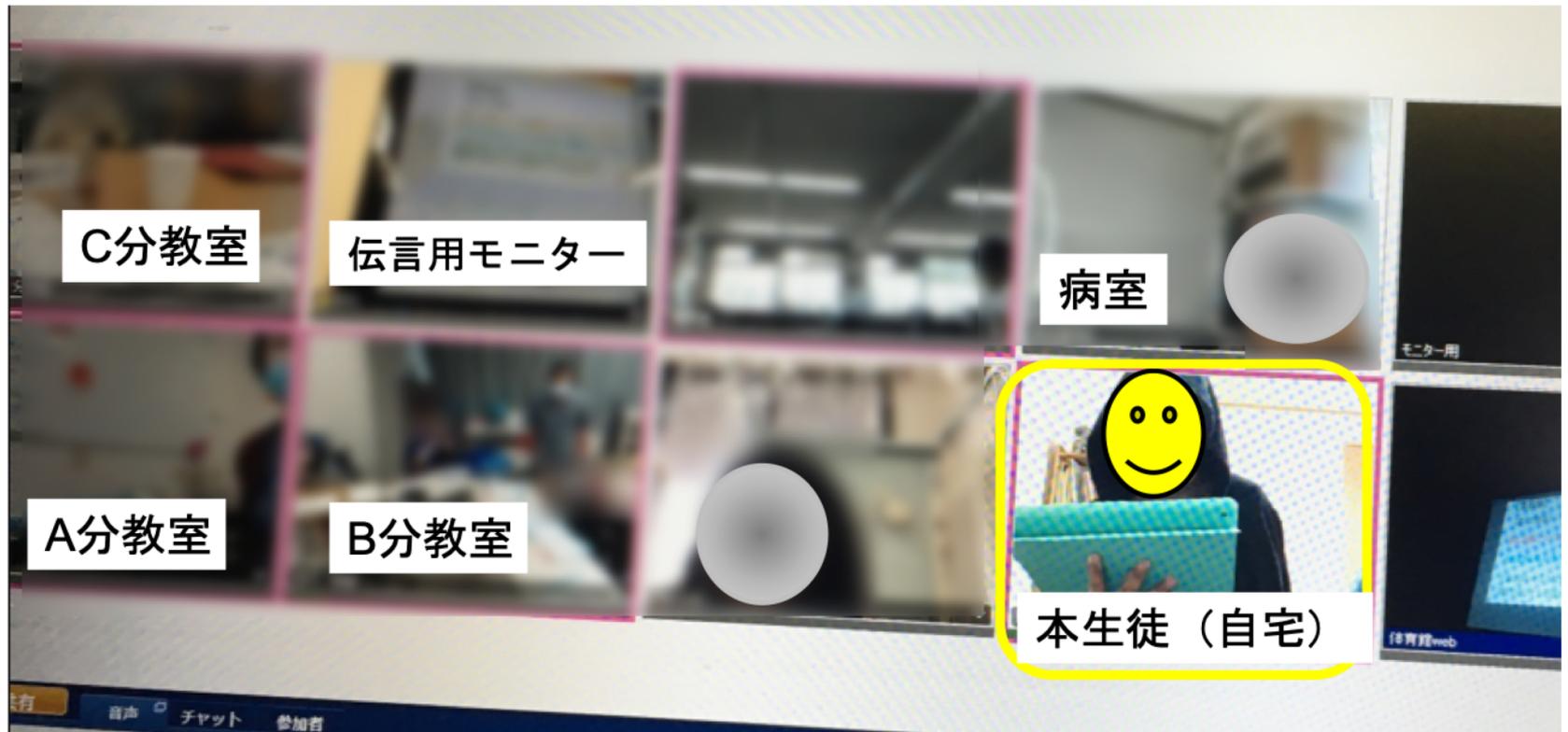
本校や分教室と合同学習を行い、同世代との関わりを増やし、学習や行事において役割を持ち、
仲間との共感・共有を通して自己肯定感を高め、学習や治療への意欲を向上
していく。

分教室・本校をつないだ運動会



② 仲間との共感・共有を通して自己肯定感を高め、学習や治療への意欲を向上

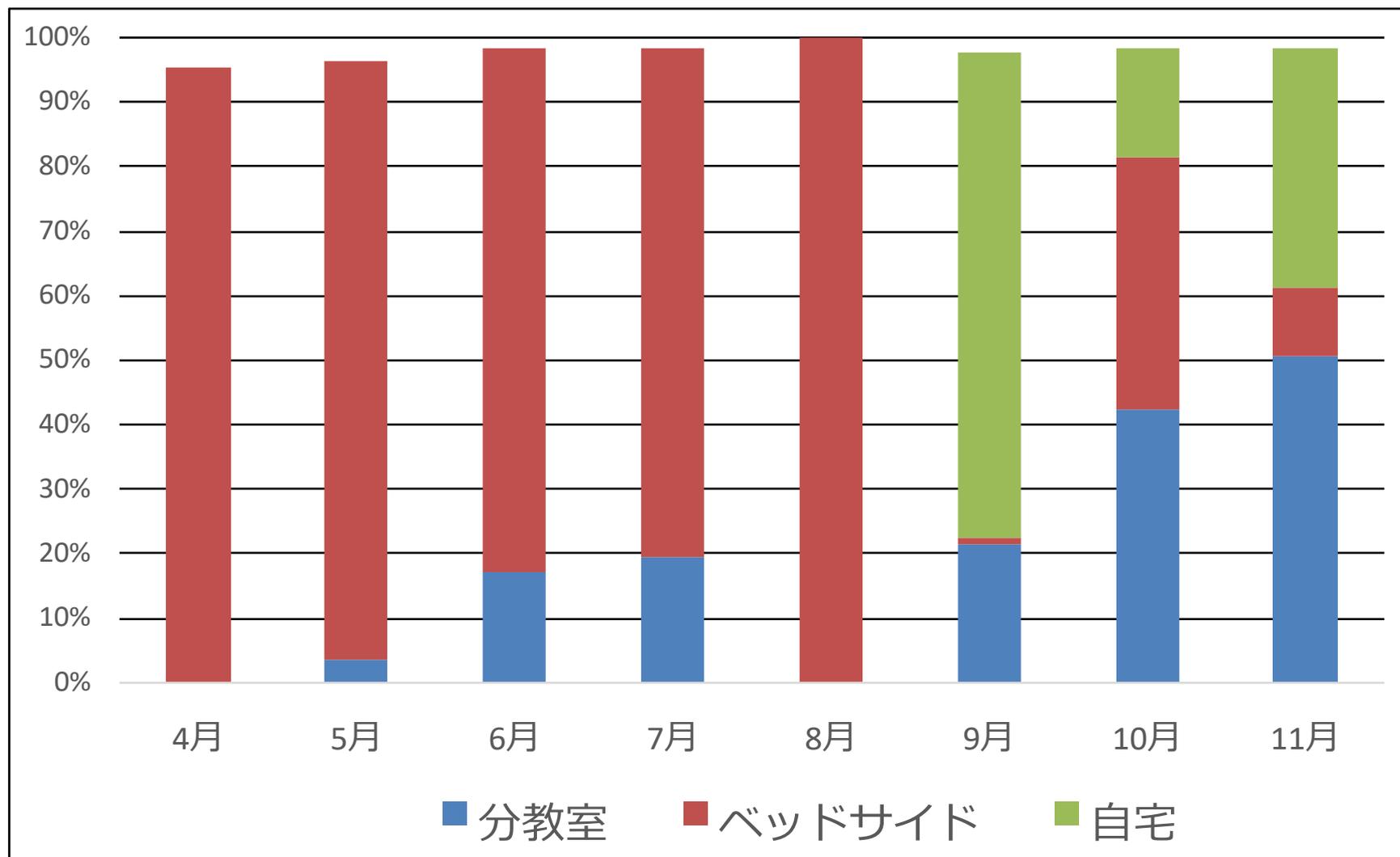
自宅から学習発表会の練習に参加



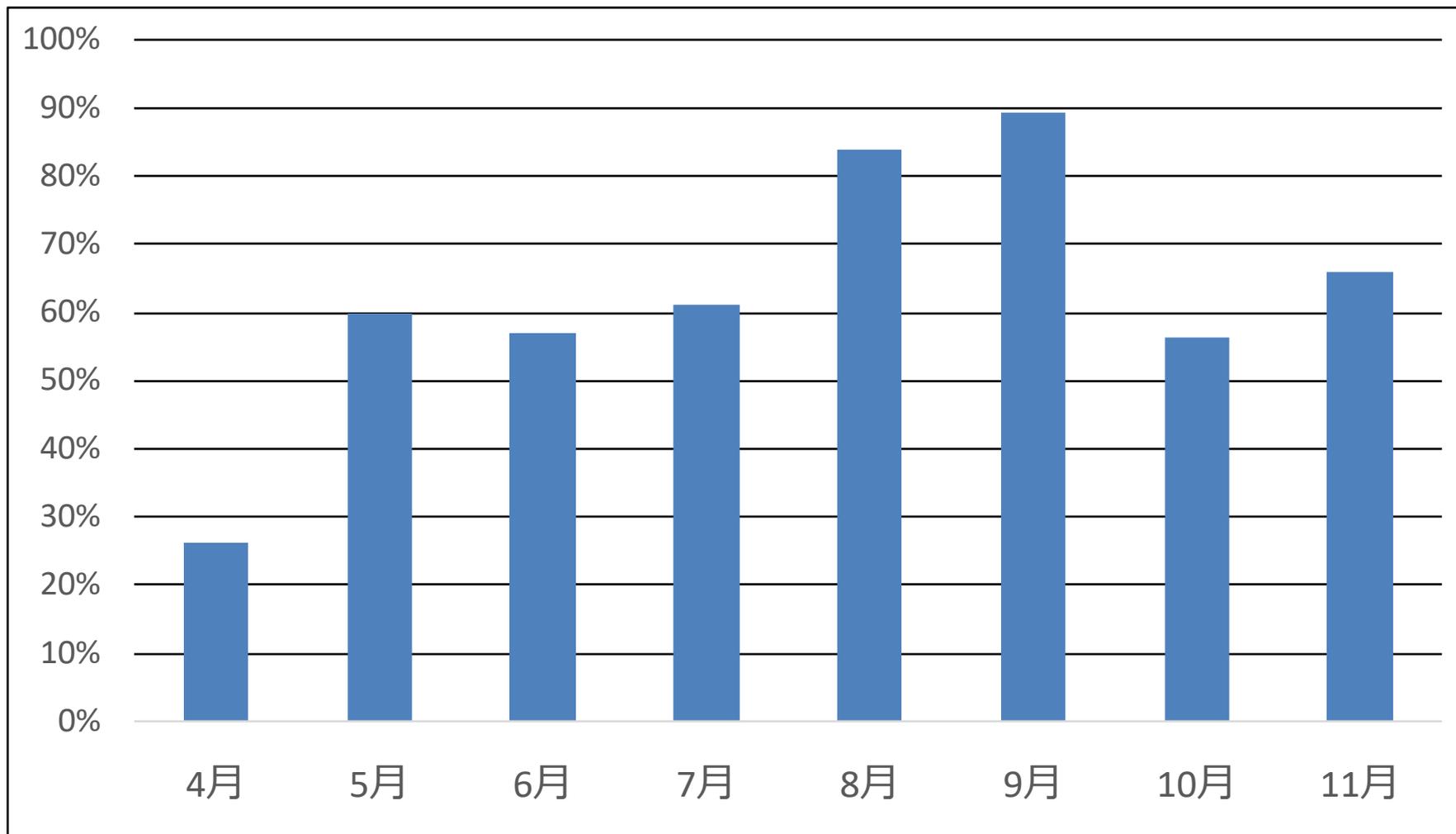
② 仲間との共感・共有を通して自己肯定感を高め、学習や治療への意欲を向上

<出席に関わるエビデンス>

要出席日数に対する総学習日数(4~11月)



要出席時数に対する総学習時数(4~11月)



* 要出席時数を100%とする

今年度の成果として

分教室間の生徒同士で**心**のつながりを感じるエピソードがありました。



『エピソード1』

授業後テレビ会議を通して
お互いの治療状況を伝えあう

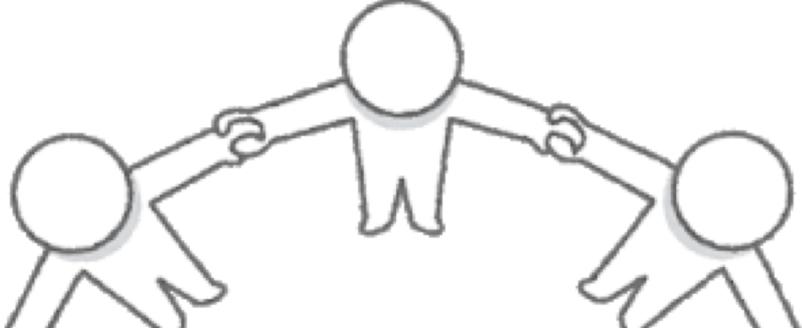


『エピソード2』

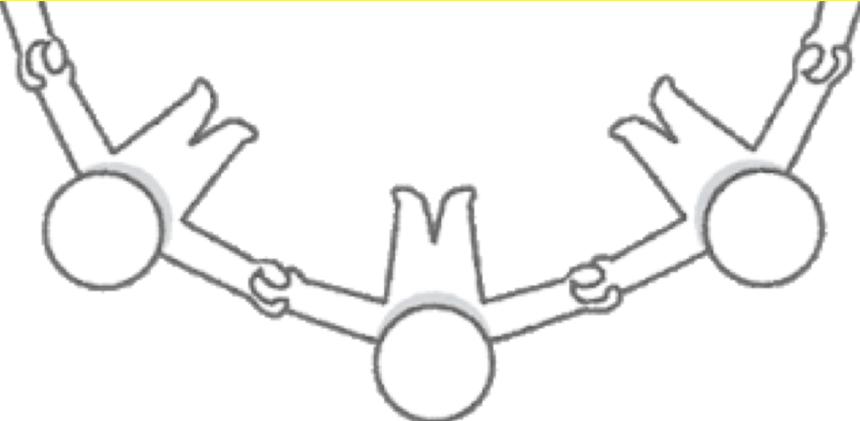
テレビ会議を通して
退院した友達に退院後の生活を聞いて、、、



本生徒だけでなく、他生徒にも
大きな成果のあった取組であった



お互いを支え合う
仲間意識・絆が生まれた



勉強はあまり好きでないけど、みんなで学習できることは楽しい。TV会議を通して実際に会うことはできなくても、みんなと話ができることは楽しい。



一時退院中の授業配信を終えて ～保護者の感想～

一時退院で、体は元気なのに欠席するしかできないのかと考えていた際、このようなシステムがありよかった。学習に取り組んでほしいと思います。



② 仲間との共感・共有を通して自己肯定感を高め、学習や治療への意欲を向上

今年度の分教室の主な取組

月	内容
6	本校・分教室合同運動会
7	祇園祭山鉾巡行見学（道徳と関連付けして）
10	学習発表会
11	全国特別支援学校病弱教育校長会主催 ロボットプログラミング選手権 （近畿・北陸・東海予選）準優勝
12	中学部クリスマス会
1	ロボットプログラミング選手権全国大会
3	中学3年生を送る会

ねらい3

原籍校と連携をとりながら、スムーズな
学校生活への移行ができるようにする。

現在は最終治療を終えて、退院に向けての検査結果や体調などの状態を見ながら、1月下旬から2月上旬に退院予定。



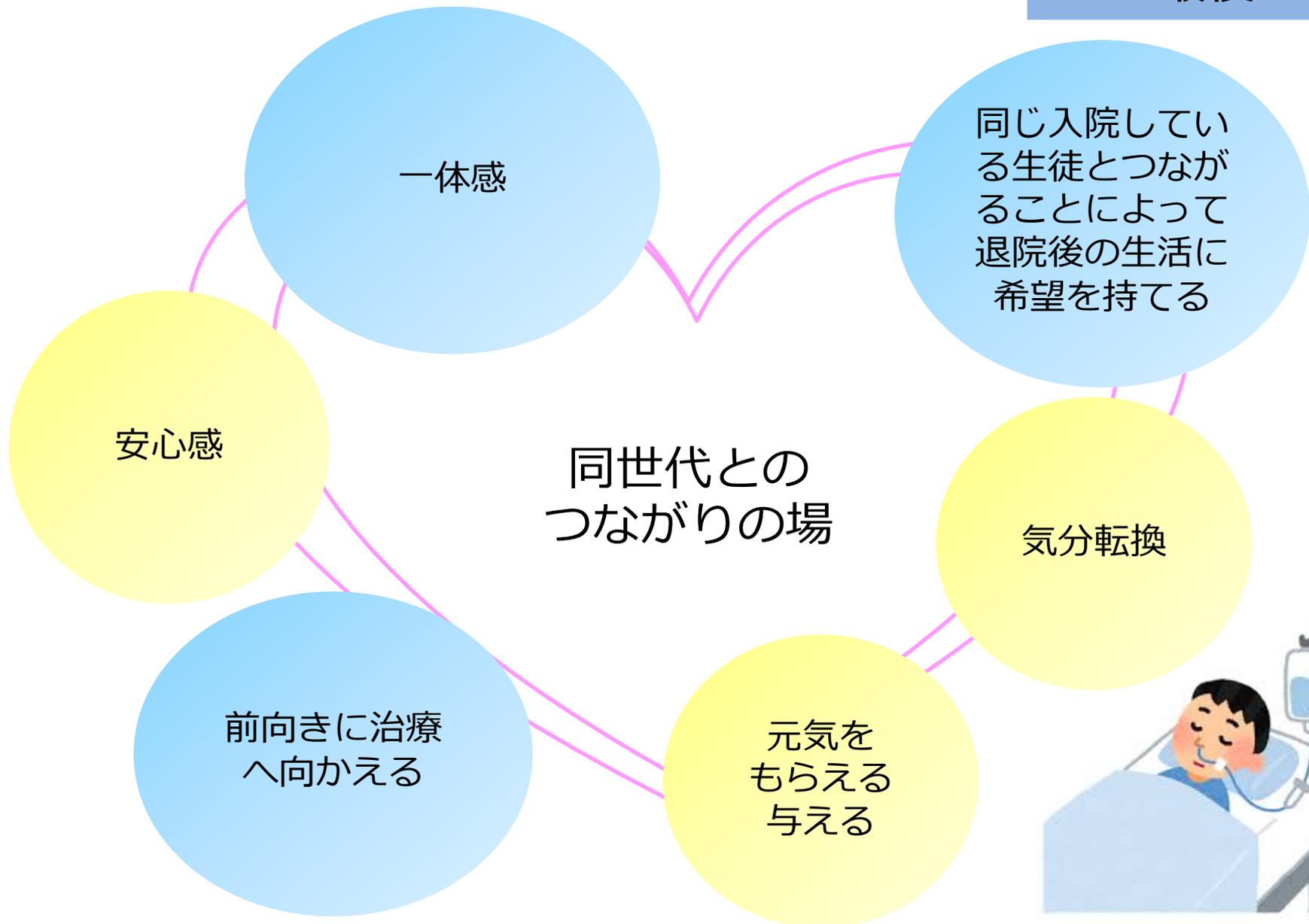
○原籍校復学に向けて

- ・ 中学3年4月に修学旅行が予定されており，1月から事前取組が行われる。原籍校と連携し取組に参加できるようにする。
- ・ 復学カンファレンスを行い，分教室での学習状況，復学後の支援について情報共有する。

入院生徒1人1人に応じた学習保障について

○院内のどこにいても学習が保障されるようにしていく

- ・ 病棟が変わったこと・総室になったこと，一時退院時など治療の経過から様々な環境での学習が想定される。今後、学習場所・配信での交流や授業をする際の場の設定などを校内体制で調整していく。
- ・ 分教室担当教員は，配信での交流や授業を想定しての教材研究に取り組んでいく。





ご静聴ありがとうございました